

# 光市医師会報

昭和47年8月発行

No. 1



全体は個人のために

個人は全体のために存在する

デュマ (フランス)

光市医師会

## 発刊に寄せて

光市医師会  
会長 林 孝之

陽光燦々たる8月、会員の皆さま、益々、ご隆昌のこと、まことにご同慶の至りに存じます。

この度、光市医師会報の新発刊を迎え、まず第一にお礼を申し上げなければならないのは、光市医師会の広報活動が、田尻元会長の月間連絡により活発化し、更に、大野副会長の手書きによる医師会報発刊により、漸くその形態を整え、月刊15号に及んだその間の両先生の並々ならぬご尽力、並びに、諸先生方の、絶大なご支援に対してであり、そして、次には、今日を迎えるに至るまでの、編集委員会の多大なる労苦に対してであります。

本当に、ありがとうございました。

広報は、医師会活動と会員とのパイプであり、社会と連繋する媒体であります。医師会の事業を会員に周知さすとともに、会員の発言の場をつくり、共々に切磋琢磨するためのものであり、更に、社会に訴え、その響きを受けとめるものでもあります。

会報は、そのために不可欠のものであり、最大の実践でもあると思います。一面には、医師会の歴史の一頁一頁を記していくものでもあるのです。

会報の新発刊により、広報活動は、一大飛躍をなしうるの器をそなえたのでありますがこの活動の生殺与奪を握るものは、その中に盛られるものが何かということなのであります。このことについては、会員の皆さまの、更に、深高なるご支援を賜わらなければならないのであります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

さて、所謂、貧者への施療とか、仁術の押し売りというような道義感は過去のものであって、社会との連帯感、社会という全体の中の一員としての在り方の中で、医学的能力をもって社会に貢献する良識を日々に貫いていく理性——これが医師としての今日的倫理観であると思います。この理念の下、会員一人一人が、医学の良心に従って行動することによってのみ、はじめて、その集団である医師会という医師の組織団体が社会と共存し得る理性と良心を持つものであります。

会報新発刊にあたり、会員の皆さまの向後のご支援、ご協力をお願いするとともに、一言、医師会の在り方に触れて、光市医師会の益々の発展を期していきたいと念願するであります。

## 会報発刊を祝いて

元医師会長  
顧問 前田俊男

誕生→お祝い、と直ちに響く心よい喜ばしい事柄である。此の度我が光市医師会に会報の発刊を見る。先づ以って御目出度うと申し述べさして戴きますと共に会長を始め御世話下さった諸先生方の御心労御努力に対し御礼申し上げます。

誕生、或は「スタート」、物の始まり、無の世界より有の世界へ始めて出ること。簡単な事のようにであるが仲々そうでない大変な事である。

『生みの悩み』と云う言葉もあるように、「スタート」の前には必ず充分なる「トレーニング」が必要である。漫然と「スタート」したのでは、よい結果の得られない事は当然である。而し充分な「トレーニング」の後、出発しても、出し放しでは尚ほ悪い。現代世相でもあるまいが、「出した後は唯かが何とかするだろう」。「ケ、セラ、セラ」。我々はまだ其所までは割り切れぬ。

生んだ後は「育ての悩み」がある筈である。悩みではない、責任がある、いや楽しみがある。

幼い時は病気にかかり易いものである。熱が出たら直ぐお医者へ。其所までは誠によろしい。後は医者が何とかしてくれるだろう。安静、看護等々自分でなさねばならぬ事は一切お構いなし。やり度い事はやり放題。而も次にくるものは「先生まだですか？」この様な事にならないように心掛け度いものである。

「スタート」、之は我々の身近に沢山起り来る事柄であるが何れも皆同じである。内からも外から

らも色々の希望の湧くものであり又色々な批判を受けるものである。前進すればする程に重荷が増すものである。「マラソン」の如く一旦出たからには最後まで頑張らねばならぬ。途中で止めては何にもならぬ。道は遠くても頑張つて好記録を作らねばならぬ。記録は作った瞬間もさることながら、後で見て大変愉快なものである。後の世の人に何等かの参考資料ともなれば尚ほ更である。記録にも色々あるが、良い記録は人の心を和らげ、楽しませ、時には反省の種ともなり得るものである。その上此の世に存する限りは人々に見られるものであるから、見られて悪いような事は残し度くないものである。其のような記録は作り度くないものである。

光市医師会も「スタート」してから既に約く30年になると思う。人間で云えば働き盛りである。立派に成長している。世界第二次大戦中（昭和18年4月）熊毛郡医師会より分離独立したものである。故秋本初代会長より現林会長（七代目）まで幾多の苦難の道乗り越えて今日に至ったものである。誠に嬉ばしき事である。此の時にあたって光医師会報の発刊を見る。実にすばらしい事である。吾々の医師会であり、吾々の会報である。自分で育てねばならぬ。どうか光医師会の諸兄、一致団結して吾々の会、吾々の会誌を、より一層発展さすべく努力し光の成長に従って吾々会員もお互に成長して行こうではありませんか。

## 会報発刊を祝す

前医師会長 高 畠 潔  
顧問

光市医師会報も執行部の方々の御骨折により毎月発行されて既に15号に及んでおりますが、愈々来月号より活字による会報が発刊される運びとなり誠にうれしく衷心よりお喜び申し述べます。

会報発刊に当りましては其の原稿の集収に又編集等々並大抵の労苦ではないと思います。編集担当者の方々も日夜多忙な聖職にあり其の忙がしい中をこの仕事に向われるので誠に骨折察するに余りあるものと思います。

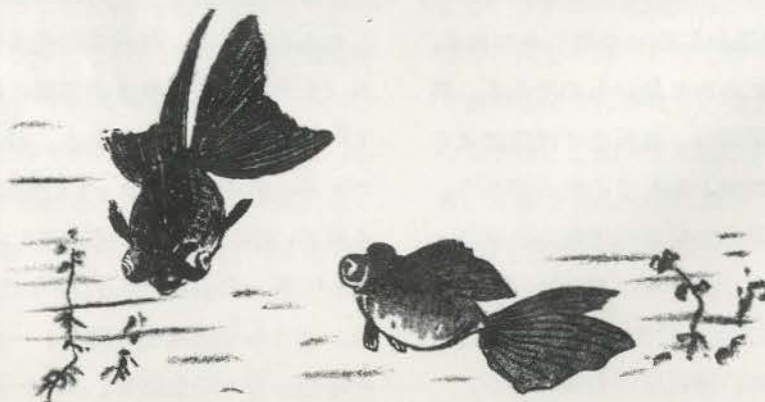
日本医師会、県医師会報等にて夫々大綱は知らされるのでありますが、最も身辺にかかわる事柄を知らせて頂けますのは当医師会報

であると思います。又其事を皆さん共々願って居られるものと思います。

従来 of 会報もその偏集に内容共に温みのある誠に行届いた立派なものでありました。実に画龍点睛と申しますか之が基礎となり第1号が発刊されました暁は内外共に自信ある会報が出ますものと自負して居ります。

今後共光医師会員の研讃、親睦、福利等の向上の為め其の一役を担って一段と精彩あるものとなる事を期待して止みません。吾々も亦其の一端を負うべく努力いたしましょう。

終りに、「杏林飛紫燕、橘井起蒼龍



## 終戦後のことなど

元医師会長 田尻常太郎  
議 長

私が光医師会にお世話になる様になってから26年になる。当時の会長は秋本先生で副が友広先生であった。秋本先生は3.4年前御他界せられ友広先生は自宅で御静養中である。

薬品類も戦時中の名残りで配給制であった。三谷薬局で1A2円也のビタカンファーいざと云う時に必要だからというので高価なのに驚き乍らも2箱宛岡本君と2人で拌み倒して分けてもらった記憶がある。

その後間もなく前田先生が会長になられて漸く医師会でも会合が持たれる様になった。初めの頃理事会は会長宅で、例会は島田市の大雲寺で開催時間は昼間午後1時頃から4時位の間であった。議題の主なものも矢張り社会保険と税金問題についてであった。税の申告は予め医師会で決めて税務署と折衝する方式である。その頃U先生とT先生が筆頭格で課税所得額は共に80万円位だった様に思う。現在の林会長は郡部などで保険よりも自由診療が多いから大変だろうというので、どんな工合かと寒い時に自転車で小周防まで打ち合せに行った事もある。今にして思えばその頃から世話好きで出しゃばりの傾向があったのだろう。三谷市議の実家(三井)の裏山で会員が集って松茸狩りをした事があった。採った松茸で一盃やろうと云うのである。金久旅館の板前さんに頼んで目の下40cm位の鯛を自転車の荷台にくっつけ現場で手料理して、す

き焼きに花を添えた事もあった。

税と云えば直税課長自身調査に来て出納の調査はそこそこにして、しぶしぶ出して見せた銀行通帳の30万余りの記入額を見て帰り過小申告でもしていると思ったのかその年は余分に5万円位税金を取られた。

今の室積中学校がある所は二階建木造の工員宿舍があった外地からの引揚げ者が一緒に住んでいた。それが火事で全焼し焼け出された人達は光井の白百合寮と警察署裏の建物に移ったため、毎日の様に往診せねばならぬ事になった。凹凸のひどい188号線を自転車を通うのだが、真夏の暑い盛りの昼下り等室積から光井に行くまで人っ子1人通っていない。出合うのは郵便配達夫位のものである。まだ若い時であったが何の因果でこの暑い最中に医者だけが自転車で走らねばならぬのかと情なく思ったものである。それからもう一つ面白くない思い出がある。例の保険の監査である。私とU.とS.の3人が受ける事になった。時間の都合とかでUの所は素通りした。夏の暑い日厚生省から県医役員の案内で悪名高かったT技監が来て来た。開衿シャツに半ズボン扇子片手にツカツカと上って来て、ウンともスンとも云わない。扇風機を向けたら要らぬという。サイダーを出しても一口ものまない。政管健保のカルテ11枚を出せと云う。事務的に数を当っていたが注射が一本

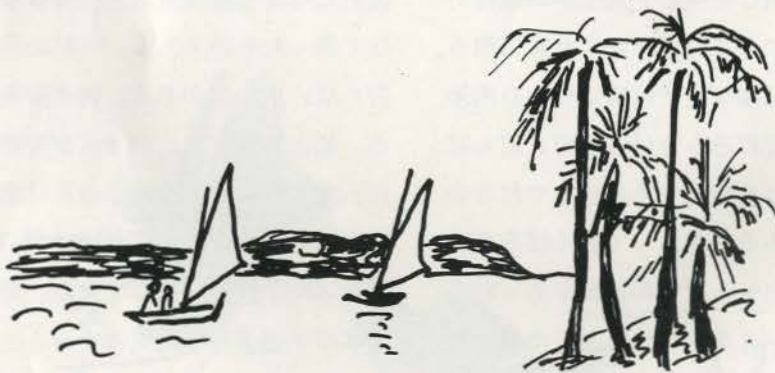
間違っていた。請求の方が少い。事務が租難だという。人工気胸をやっていたX線フィルムを見て空気の入れ方が少いという。癒着がなく肺は可成り縮小しているのに不満ではあったが付人が反論するなど目配せをする。田舎の医者は勉強をしなくて技術も下手だという。結局技官が監査表の様なものを書いてそれに署名捺印してそれで終り。全く一方通行であった。その夜ひと痛飲した事は云うまでもない。

故中本先生が後にも先にも一度だけ医師会の会合に出席された事がある。光井金山の金福荘での時である。二次会なんか行く所がない頃の事だから本番が長くなる。彼処で酔払

ったら本道に出るまで大変である。I.先生は自転車諸共転落してそのまま寝込んで、主人が酔拂って倒れているのに家まで送り届けて呉れなかった。警察は何をしているかという様な抗議の電話を奥さんがされたとか、どことなくのんびりしていたものだ。

山口団体を契機に188号線が急ピッチで補装されて日に日に車が殖えるにつれて老化しかかっていた光医師会も、最近頃に若い先生方が多くなって活況を呈して来た若さに溢れた優秀なスタックを揃えて活字による光市医師会報が出されることになった。誠に同慶の至りである。創刊号を期待したい。

T.T.生



## 医師会月間行事

7. 11. (火) 定例理事会

於市民ホール会議室 午後 7. 3 0.

出席者 林、大野、松村、渡辺、河内山、橋本、丸岩

1. 光市長に牛島出張診療に付ての要望書提出の件
2. 牛島診療所導任医師候補者について
3. 会員の声に 回答
4. 納涼懇親会開催について

7. 1 6. (日) • 山口県医師互助会郡市支部長  
会  
• 郡市医師連盟代表者会議  
• 医師国保昭和47年度第1回通  
常組合会

於県医師会館 午後1時  
大野副会長出席

7. 1 8. (火) 周南地区港湾征生管理運営協  
議会委員会  
検疫伝染病対策連絡協議会

於徳山總合庁舎  
林会長出席

7. 2 5. (火) 光市医師会7月例会及納涼懇  
親会

於虹ヶ浜ドライブイン 午後 7. 3 0.

1. 互助会支部長会、医師連盟代表者会議に  
ついて報告
2. 医師年金について朝日生命係員より説明

7. 2 9. (土) 会報編集委員会

於梅田病院講議室 午後8時

大野、渡辺、田中、富恵、中村(琢)

## 光市医師会の沿革 (その1)

### (1) 光市の発足

光市は昭和13年島田、光井、浅江の海岸地帯に海軍工廠が建設されることとなり、同年7月これらの地域を対象に都市計画区域の指定がなされた。昭和14年4月1日光井、島田、浅江、三井の四村が合併、周南町として発足した。昭和15年10月1日光海軍工廠の開庁に当り、その名に因み光町と改称した。昭和17年7月8日旧市街地建築物法に基き用途地域の指定を受け、引き続き昭和18年3月31日室積町も都市計画区域の指定を受けた。光室積両町の都市形態が整備されるに伴い、昭和18年4月1日両町が合併し光市として発足した。

### (2) 医師会の状況

昭和18年4月1日光市の発足に伴ない山口県医師会熊毛郡支部より分離し山口県医師会光支部となる。

### 山口県医師会光支部

昭和19年3月1日現在

診療科名	住 所	診療所名	氏 名	電話局番号
全	光市室積	友廣医院	友廣 利親	室積4
内小	光市室積	青木医院	青木 狷介	
内外	光市牛島	牛島診療所	曾田鷹之助	
全	光市光井	中本医院	中本 百助	
全	光市島田	秋本医院	秋本 爾助	島田14
外	光市浅江	浅海医院	浅海 吾一	
内	光市浅江	神部医院	神部 哲郎	
内	光市浅江	虹ヶ浜医院	弘中 國香	光32
			藤澤 兼道	" "
			志熊孝孝雄	" "

支部長 山口県医師会議員 秋本 兩助

副支部長 山口県医師会予備議員友廣 利親

山口県医師会事務所

防府市三田尻駅通





## 光市の人口

### 1. 人口の推移

昭和15年の光海軍工廠の開庁により人口は飛躍的に増加昭和18年当時は日中人口8万を容したが終戦前の被爆により工廠地区の壊滅敗戦により光市も衰微の一途をたどった

が、誘致企業の伸展により昭和36年頃より人口も伸び始め、昭和40年国勢調査においては、40916人、昭和45年国勢調査においては45716人、で4800人増加した。平均増加率は2.87%で山口県下第1位である。

#### 1. 年度別人口の推移

年年度	世帯	人			口	
		男	女	計	増減数	指数
昭和10年	4,249	9,334	10,075	19,409	-	100
15	4,988	12,249	11,996	24,245	4,836	125
28	8,889	18,762	20,422	39,184	3,013	202
25	8,441	18,592	19,435	38,027	△1,097	196
30	8,444	18,536	19,409	37,945	△376	195
35	8,914	18,463	19,152	37,615	△202	194
40	10,339	20,354	20,562	40,916	801	211
45	12,574	22,411	23,305	45,716	704	236
46	13,121	23,020	24,088	47,108	1,302	243

#### 2. 地区別人口の推移

地区別	昭和35年			昭和40年			昭和45年			昭和46年 (41)			昭和47年 (331)		
	世帯	人口	前年比 %	世帯	人口	前年比 %	世帯	人口	前年比 %	世帯	人口	前年比 %	世帯	人口	前年比 %
浅江	2,385	9,822	3	2,741	10,770	9	3,185	11,378	5	3,505	11,524	1.3	3,809	12,280	6.5
三井	543	2,385	△6	602	2,431	1	719	2,687	10	780	2,904	8	902	3,287	12.3
周防	517	2,382	△16	554	2,379	0	562	2,218	△6	507	1,966	△11	512	1,940	△13
上島田	553	2,424	△3	578	2,259	△5	842	3,387	47	942	3,428	1.2	962	3,475	1.2
島田市	659	2,820	18	914	3,643	29	1,175	4,105	12	1,364	3,971	△3	1,137	4,082	2.7
光井	1,623	6,795	6	1,825	7,051	3	2,088	7,450	5	2,341	7,744	4	2,467	7,914	2.1
室積	2,438	10,150	0	2,947	11,674	15	3,839	14,003	19	4,187	14,577	4	4,191	14,611	0.3
牛島	196	837	△4	178	673	△19	157	488	△27						
計	8,914	37,645		10,339	40,916		12,571	45,716		13,626	46,114	0.85	14,180	47,589	

周南地区港湾征生管理運営協議会委員会

会員の動静

7月18日 於徳山総合庁舎  
林会長出席

要旨: 港湾の征生管理については、関係諸機関の格別の理解と協力のもとに推進されてきているが、海洋汚染防止法の制定もあり、又年々の外航船舶の入港隻数の増加と船舶のスピード化により検疫伝染病の侵入する恐れが増大している今日益々各関係諸機関の連絡を密にしてゆきたい。

検疫伝染病対策連絡協議会

7月18日 於徳山総合庁舎  
林会長出席

要旨: 外航船のスピード化や航空機による入国のため潜伏期間中に入国し、在国中に発病する事例があり得るので医療機関においては検疫伝染病の国内発症について遺漏のないよう留意願いたい。

簡易保険加入者の人間ドック実施についての協力

光郵便局保険課の実施する加入者に対する人間ドックに於て有疾と診定されたものの治療について光市医師会の協力を求められたので了承した。若し治療を依頼された場合は協力を御願ひしたい。



1. 周南地区港湾征生管理運営協議会委員の受諾

昭和47年7月10日付にて周南地区港湾征生管理運営協議会長より光市医師会長に委員の委嘱があったので林会長受諾された。

2. 田村勝司先生: 7月11日付で新日鉄光製鉄所診療所を退職、8月1日開業さる。祈発展

田村医院 光市大字室積村亀久保 5380~8  
電話 78-1775

3. 森昇先生: 4月29日総会后発病左偏あり出勤されたが無理なので5月1日より7日まで欠勤、少しよいので出勤を続けておられたが6月8日悪化し、6月13日より7月3日まで入院、7月9日まで在宅療養され、7月10日より出勤されておる。まだ多少のふらつきがある由、御自愛を祈ります。

牛島診療要望書について

先般承認された光市長に対する要望書は6月29日市民健康課長を経て市長に提出された「牛島における医療行政は離島対策の一環の中で県の姿勢を見るためにも、離島対策の在り方として市長会に提案してみたい。その結論をまって御答えをしたいので今しばらく日時を借してもらいたい。誠意をもってこの問題に具体的な取り組みをしていく」との市当局の返事であった。

旧点数（乙表外来分）を新点数に置き替えた百分率

47. 1月分

(愛知県医師会調べ)

	内科	胃腸科	小児科	外科	脳外科	整形外科	皮膚科	眼科	耳鼻科	婦人科	合計
診察料	160.8	227.2	152.9	141.5	127.3	144.6	153.8	145.1	124.9	154.1	159.4
投薬料	92.5	87.3	96.4	111.4	89.2	84.2	99.3	96.0	94.3	97.0	94.2
注射料	95.1	11.1	99.1	95.6	—	97.9	97.1	90.2	101.8	98.5	97.1
処置料	333.3	—	136.4	174.6	105.3	—	115.2	115.8	140.5	150.7	157.5
手術・麻酔料	—	—	—	170.0	—	171.8	—	158.5	—	—	169.3
検査・レントゲン	97.5	99.1	97.0	98.2	—	100.1	91.2	100.0	100.1	98.5	97.8
その他	—	—	—	—	—	—	166.7	166.7	—	—	166.7
合計	101.3	101.9	112.9	114.7	98.9	119.2	100.4	107.3	107.2	106.5	104.8

(全国 保険医新聞より)

光市の大気汚染

大気中S O<sub>2</sub> 測定成績

調査月 6月

提供 光市役所

測定場所	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)
	全測定時間数	最高PPM	最低PPM	01PPM以上時間数	0100PPM以上時間数	02PPM以上時間数	02PPM以上時間数	測定回数	日平均0.051PPM以上日数	日平均の最高PPM	緊急時回数	月平均PPM
市役所本庁	712	0.220	0.008	48	1	3	0	30	10	0.078	0	0.042
浅江公民館	384	0.146	0.001	15	1	0	0	11	5	0.0076	0	0.040
室積公民館	636	0.151	0.003	11	0	0	0	27	2	0.077	0	0.026

◎ 会員の声

質問：政管健保の⑧の場合、例えば5名の請求明細書を提出したにも拘らず、3名当しか支払通知がない場合、此の異議はどこに申立てるべきですか。市の社会課ですか。尚社会課が受理した時どの様な経路で処理されますか。（一会員）

的に行動した場合は公務とは見做されない。

2.質問：広報に掲載されていない予防注射出務。

答：洩れ者又は予診により接種禁忌であった人に対して補充して行なう予防注射は予め広報に記載しておかない方がよいと考えてのことである。予め広報に載せておくとその日を予定して正規の会場で接種しない人ができて整理困難となるからである。会場に掲示する日程には予備の日を示してある。市職員等は正規の会場において接種し難いので市庁舎における補充日を借りて接種を受けたものであって御了解を得たい。

（市担当課長の返信）

◎ 会員の声回答

1.質問：市の業務に協力出務には公用車の使用を提議致します。

答：公用車使用でなくとも自家用車で出務の順路による往復時に起きた傷害は公務起因として処理する。従って第三者に対する傷害事故についても同様に市の条例により処理される。順路の途中より往診等により他の目

謹 弔

近藤美之先生 明36.9.10.生 68才  
昭和5年愛知医科大学卒業、海軍軍医として要職を歴任、海軍軍医井佐、昭和25年8月開業。20数年に亘り、地域医療に、医師会の為に御活躍さる。8月3日午後7時35分肺疾患のため突然逝去された。  
謹しんで哀悼申し上げます。

## 同好会

## 緑友会ゴルフ成績

於 光 C. C 18 M

S 47. 7. 16

氏名	O	i	GNOSS	Ho p	Ne t	RANK
高 島	56	61	117	26	91	8
富 恵	57	57	114	24	90	7
守 田	51	50	101	18	83	優勝
亀 田	55	75	130	20	110	9
山 井	55	56	111	25	86	3
河 内 山	54	55	109	23	86	4
竹 中	62	60	122	33	89	6
菊 本	50	58	108	19	89	5
伊 藤	52	57	109	25	84	2

## ボーリング同好会成績

於 光 ボール

S 47. 7. 16.

PLAYERS	1	2	3	Ho P	G-TOTAL	RANK
守 友	139	138	137	30	444	6
松 村	109	100	128	90	427	7
梅 田	170	185	110	45	510	優
河 内 山	178	165	165	0	508	2
亀 田	154	166	171	0	489	3
大 野	92	94	74	150	410	8
伊 藤	157	155	113	60	485	4
竹 中	153	118	131	45	447	5

H. G 梅田・185

## 学 会

8月

東日本臨床整形外科学会總會

8月5日6日東京虎の門国立教育会館

骨代謝研究会

8月19日、東京、小石川エーザイホール

〔シンポジウム〕骨のリホデリング

日本医学教育学会總會

8月25～26日東京お茶の水東京医

歯科大学

〔パネルディスカッション〕諸外国の医学教育

臨床肺機能講習会

9月2～7日東京渋谷東京都オリピック記念センター

日本脳部外科学会總會

9月28～29日札幌市、北海道厚生年金会館

日本医集団検診学会合同秋季大会

9月28～30日新潟市 新潟市県民会館

国保地域医痛学会

9月29～10月1日盛岡市 岩手教育会館

9月

日本医真蘭学会總會

9月2～3日札幌市、共済ホール

〔シンポジウム〕

1. マイコトキシンをめぐる諸問題
2. アスペルギルス およびアスペルギルス症

## あ と が き

会報第1号を発刊することができて、正直なところ肩の重荷をおろしてほっとした様な気持ちであります。編集委員会を開催すること4回、最初の委員会で8月第1号発刊を決定したものの果して掲載原稿が集まるであろうか、8月に発刊できるだろうか等々、多分に不要な心細い思いがしたのですが、幸い諸先輩、会員各位の御援助と鞭達をうけて予定通り、とにかく発刊できましたことは卒直に云って嬉しい思いで一杯です。然し創刊号を

振り返りみれば不満足な点ばかりが目について会員の皆さんの期待を裏切ったのではないかとおそれている次第です。真夏の陽光をあびながら光第1号は出帆しました。遙かなる大洋に向って満腹の帆をはらんで平穏な永い航路を続けるよう祈ってやみません。

かなかなに後れ勝なる仕事かな

(虚子)

## 御 礼

故近藤美之先生御逝去の折コーエー小倉薬品KK及びトーコー薬品には告別式場の設営  
其の他種々御協力、御高配に預り紙上を借り  
厚く御礼申し上げます。

担当理事

# 祝 光 市 医 師 会 報 創 刊

## 伊藤薬品株式会社

本 社 宇部市琴芝町2丁目5の3  
営業所 徳山市河東町4丁目32  
TEL 21-6779

## 杉本薬品株式会社

本 社 広島市大手町2丁目6の32  
TEL 広島 47-9137  
営業所 柳井市天神通り  
TEL 柳井 2-3221

## 関東医師製薬九州販売

株式会社 徳山出張所

出張所 徳山市新宿通3丁目5  
TEL (0834)21-6563

## 常盤薬品株式会社

本 社 宇部市大字妻崎開作860の1  
TEL 宇部 41-6111  
営業所 下松市大手町  
TEL 下松 1561-1981

## 光洋薬品株式会社

本 社 広島市宇品海岸3丁目8  
TEL 広島51-015151  
営業所 徳山市五月町2の1  
TEL 徳山 21-5090

## ト ー コ ー 薬 品

光 市 正 門 町 5 の 4  
TEL 光 71-2649

## コーエー小倉薬品株式会社

本 社 北九州市小倉区大手町10番  
TEL (小倉) 561-1981  
営業所 下松市大字末武中学向香力1159-7  
TEL (下松) 41-4000

## 河野薬品株式会社

本 社 広島市鞆町5の12  
TEL (広島) 0822(28)0501  
営業所 徳山市東山7-5  
TEL (徳山) 22-2769

リハビリテーション用器械全般

## OG技研株式会社 山口販売

徳山市遠石1丁目1508-6  
TEL (0834)22-2518

## 三興医療品株式会社

柳 井 市 魚 町  
TEL 柳井②-0589

医薬品・衛生材料・医料機械・動物薬品

## 成和産業株式会社

本 社 広島市上天満町10-46  
営業所 徳山市大字徳山勢屯5945  
TEL 21-0796

## 安永医療器械店

徳 山 市 東 山 町 2-14  
TEL (0834) 21-0926・5118



発 行 所 光市小周防1633の2林医院内

光 市 医 師 会

TEL 0833 (91) -0519

発 行 者 林 孝 之

編 集 者 会報編集委員会

光市御崎町

印 刷 所 中村印刷株式会社